

2020年度 第16回  
国家資格 キャリアコンサルタント試験

**実技試験（論述） 問題用紙**

実施日 ◆2021年3月7日（日）

試験時間 ◆14：30～15：20（50分）

★注意事項★

1. 逐語記録を読み、解答用紙の問いごとに記述してください。
2. 解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。記載漏れがあった場合は採点されません。
3. 試験中は、受験票、腕時計、筆記具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム）以外のもの（定規、メモ用紙、筆記用具入れ等）は机上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受験票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験中は、携帯電話・スマートフォンなどすべての通信機器及び電子機器は使用できません。必ず電源を切って、カバンの中などにしまってください。時計のアラーム等、音の出る機能も使用できません。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、監督員の指示に従ってください。
9. その他、監督員の指示に従ってください。指示に従わない場合は、失格となります。

【退席時の注意事項】

1. 試験開始後30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、監督員の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻5分前からは退出できません。試験終了後、監督員が解答用紙を回収しますので、着席したままでお待ちください。

- 実技試験の合格は、論述試験及び面接試験の両方も合格基準に達することが必要です。
- 2021年4月16日（予定）に、受験者全員に結果通知書を送付いたします。
- 合格者は、当協会のWebサイトに受験番号を掲載してお知らせします。  
(<https://www.icda-careerex.org/result.html>)

厚生労働大臣登録試験機関

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会

## 設問

事例Ⅰ・Ⅱ共通部分と事例Ⅰ、Ⅱを読んで、以下の問いに答えよ（事例ⅠとⅡは、同じ相談者（CL）、同じ主訴の下で行われたケースである）。（50点）

相談者（CLと略）：A、55歳男性、4年制大学卒業、  
教育系出版社勤務 企画部課長  
妻（53歳）との2人暮らし

キャリアコンサルタント（CCtと略）：相談機関のキャリアコンサルティング専任社員

### 【事例Ⅰ・Ⅱ共通部分】

- CL1：管理職としての立場に不安を感じ始めていて、どうしたらいいか相談に来ました。
- CCt1：管理職という立場に不安が出てこられたということですね。どういうことですか。
- CL2：はい、在宅勤務が始まって、自分には管理職としての能力があるのかという不安とか、オンラインの新しいツールを使いこなせていないことで、メンバーとのコミュニケーション不足への焦りなどが出てきています。
- CCt2：管理職の能力についての不安とはどんなことですか。
- CL3：これまでのように会社の中なら、課内で問題が起こっても、「打ち合わせをやろう。」とみんなに声をかけて、すぐ解決できていました。しかし、オンラインのパソコン画面での打ち合わせだと、みんなの様子がうまく掴めず、指示を出すのに時間がかかってしまいます。
- CCt3：どう違うんでしょうね。
- CL4：対面の時は、日頃、何気ない会話をしながら、みんなが考えていることを薄々感じ取ったり、一人一人の様子を見て、声掛けをしたりしていましたので、何か問題が起きてもすぐ判断できていました。今は、メールでのやりとりや画面を通じて突然言われたりするので、状況を把握しづらく、結論を出せずにもたもたしてしまいます。
- CCt4：なるほど。他にもありますか。
- CL5：そうですね。営業所との打ち合わせでも、前は何かあるとすぐに「そちらに行きます。」と言って、少ない人数で、顔を突き合わせてみんなの意見をまとめて、新しいアイデアを出したり、業務を円滑にすることを得意技としてきました。でも、今のオンラインの打ち合わせだと、はじめから大人数が参加するので、全体の様子を伺っていると、あまり自分の意見を出せないですね。何か取り残された感じがしています。
- CCt5：そういうことがあって、不安を感じられているんですね。
- CL6：はい、オンラインでは、日頃のコミュニケーションを積み重ねるやり方が通用しないので、強いリーダーシップが必要だということを痛感しています。
- CCt6：先ほどオンラインのコミュニケーションの新しいツールのことも言われていましたね。
- CL7：はい、別の課の課長は、新しいツールを使ってメンバーとチャットをしているということを聞きました。自分もやらないといけないと思いつつ、そこまでついていけず、まだまだメンバーのケアができていないなという気持ちが湧いています。

### 【事例Ⅰ】

- CCt7：在宅勤務になって、Aさんは不安になられているのですが、実際の仕事上で何か問題が起きているのですか。
- CL8：う～ん、問題は起きていません。これまでの蓄積があるし、それぞれのメンバーが戸惑いながらも頑張ってくれているので、課の外に迷惑を掛けるようなトラブルはないのですが、私自身は、このままだと管理職としての存在価値がなくなるような気がして穏やかではないです。
- CCt8：いつから在宅勤務に入られたのですか。
- CL9：最初は週1、2日くらいでしたが、本格的に在宅勤務になったのは6ヶ月前からです。
- CCt9：これからは在宅勤務が定着して、マネジメント手法やコミュニケーションのとり方もどんどん

ん変化していくと言われていいますので、それに慣れていく必要がありますよね。

CL10 : そうですね。慣れていかないといけないですね。しかし、例えばオンラインの会議で、大勢の前で積極的に発言することをためらう自分を振り返ると、このやり方に慣れるのかなと心配です。

CCt10 : オンラインの新しいツールなどを使うのは苦手ですか。

CL11 : 苦手かな。最近やっとオンライン会議のアプリの操作に慣れてきましたね。他に、いろいろな新しい連絡ツールのアプリを教えてもらうのですが、使い方がすぐに頭に入らず戸惑うことが多いです。在宅になって気軽に教えてもらうことができないので、すぐに使いこなすところまでいけません。

CCt11 : それも使うことで慣れてくるのではないですか。

CL12 : 確かにね。そういえば、この前、散歩中に可愛い花を見つけたので、写真に撮って、教えてもらったアプリで、メンバーに配信したら、意外とみんなからいい反応がありましたね。でも、今頃こんなことで喜んでいいのかな。

(後略)

## 【事例Ⅱ】

CCt7 : 先ほどオンライン会議での大人数の打ち合わせではあまり自分の意見が出せなくて、リーダーシップが発揮できず、取り残された感じがすると言われていましたが、その時はどんなことがあったのですか。

CL8 : はい。1週間前に、営業所の人たちも入れての企画のプロジェクト会議をオンラインでやりました。参加したのは全部で15名でした。その中に私より年上のアドバイザーの立場の人がおられたんですが、その人が会議をどんどん取り仕切っていきました。私も自分の考えを言わないといけないと思うのですが、手をあげてもその人は自分が喋るのに夢中で、スルーされたりして、だんだん言うタイミングがなくなっていきました。

CCt8 : 発言はされなかったのですか。

CL9 : ほとんど発言できませんでした。何か、その人がいっぱい喋れば喋るほど、圧倒されて、やる気がなくなっていき、彼がそうやって前面に出てくると、自分の立ち位置がどんどん狭くなっていく感じがしました。

CCt9 : その時にはどんな気持ちが湧いてきたのですか。

CL10 : そうですね。あの人のようなリーダーシップが必要なんだろうな、ここで引いてしまう自分は弱いな、情けないなという思いでした。う～ん。今聞かれて思い返すと、そう思う一方で、ああはなりたくないな、自分はあるようなリーダーシップを望んでいるのかなという疑問も湧いてきたのを思い出しました。

CCt10 : 「ああはなりたくない」と思って、疑問が湧いてきた。それはどういう疑問ですか。

CL11 : その方を見ていると、自分の考えだけをどんどん話して、他の人の話を聞かない。自分のことを押し付けるだけで、周りを気遣わない人にはなりたくないと思いました。そのやり方で皆をまとめていい仕事ができるのかな、という疑問です。

CCt11 : そのアドバイザーの方に、自分の求めているリーダーシップを感じながら、一方ではその人のようになりたくない気持ちも湧いてきたということですね。何がAさんの中で起こっているんでしょうね。

CL12 : う～ん。そうですね。何か矛盾しますね。何が大事なのかな。

(後略)

※以下の各問いに対する解答について字数に制限はありません。ただし、解答は全て解答用紙の行内に記入してください。行外および裏面に記述されたものは採点されません。

[問い 1]

事例ⅠとⅡはキャリアコンサルタントの対応の違いにより展開が変わっている。事例ⅠとⅡの違いを下記の5つの語句(指定語句)を使用して解答欄に記述せよ(同じ語句を何度使用しても可。また語句の使用順は自由。解答用紙に記述する際には、使用した指定語句の下に必ずアンダーラインを引くこと)。(15点)

指定語句

焦点 事柄 内省 助言 ものの見方

[問い 2]

事例ⅠのCCt9と事例ⅡのCCt11のキャリアコンサルタントの応答が、相応しいか、相応しくないかを考え、「相応しい」あるいは「相応しくない」のいずれかに○をつけ、その理由も解答欄に記述せよ。(10点)

[問い 3]

事例Ⅰ・Ⅱ共通部分と事例Ⅱにおいて、キャリアコンサルタントとして、あなたの考える相談者の問題と思われる点を、具体的な例をあげて解答欄に記述せよ。(15点)

[問い 4]

全体の相談者の語りを通して相談者像を想像し、事例Ⅱのやりとりの後、あなたならどのようなやりとりを面談で展開していくか、その理由も含めて具体的に解答欄に記述せよ。(10点)



設問

[問い 1]

---

---

---

---

---

---

---

[問い 2]

事例Ⅰの CCt9 (相応しい・相応しくない)

理由：

---

---

事例Ⅱの CCt11 (相応しい・相応しくない)

理由：

---

---

[問い 3]

---

---

---

---

---

[問い 4]

---

---

---

---

---

---

---